

平成31年度 (2019年度) 新学術領域研究 (研究領域提案型) 研究計画調書

XX年XX月XX日

1版

研究区分	計画研究	機関・仮領域・研究 項目・整理番号	00000-00000-000-0000				
仮領域番号							
研究項目番号							
研究代表者 氏名	(フリガナ)						
	(漢字等)						
所属研究機関							
部 局							
職							
研究課題名							
研究経費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳 (千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	平成31年度						
	平成32年度						
	平成33年度						
	平成34年度						
	平成35年度						
総計							
関連研究分野 (小区分)		(1)			(2)		
	小区分						
	小区分名						
研究代表者 連絡先	〒 (住所)						
	電話番号 :			Fax番号 :			
	Email :						

研究組織（研究代表者、研究分担者）

	氏名（年齢）	所属研究機関 部局職	学位 役割分担	平成31年度 研究経費 （千円）	エフ オー ト （%）
研究代表者	00000000 00才	(00000) (000) (00)			
研究分担者	00000000 00才	(00000) (000) (00)			
研究分担者	00000000 00才	(00000) (000) (00)		-	-
合計	00 名		研究経費合計		

計画概要

(1) 総括班の目的等

新学術 (総括) - 2、3 (総括班の目的)、6 (今回の計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法)、9 (これまでに受けた研究費とその成果等)、の内容を簡潔にまとめて記述すること。(1/2 頁程度。「総括班の計画・方法」と合わせて1 頁以内)

国際活動支援を実施する場合は、7、8 (国際活動支援の計画等) に記載した関連事項も含めて記述すること。

(2) 総括班の計画・方法

新学術 (計画) - 4、5 (総括班の計画・方法) の内容を簡潔にまとめて記述すること。(1/2 頁程度。「総括班の目的等」と合わせて1 頁以内)

国際活動支援を実施する場合は、7、8 (国際活動支援の計画等) に記載した関連事項も含めて記述すること。

総括班の目的

本欄には、領域の全体構想及びその中での総括班の具体的な目的について、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に、2頁以内で記述すること（記述に当たっては「科学研究費助成事業（新学術領域研究）の審査要綱」を参考にすること）。

- ①研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置付け、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）
- ②総括班の領域における位置付け・役割を踏まえて、研究期間内に、どのように領域の推進に貢献しようとするのか
- ③領域内での研究の有機的な結合を推進することにより、新たな研究の創造が期待できる点
- ④平成31年度において継続して科研費又は科研費以外の研究費（府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費）の助成を受ける予定がある場合は、当該継続研究課題と本研究課題との相違点

総括班の計画・方法

本欄には、総括班の目的を達成するための具体的な計画・方法について、平成31年度の計画と平成32年度以降の計画に分けて、焦点を絞り、具体的かつ明確に2頁以内で記述すること。ここでは、計画が当初計画どおりに進まないときの対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、計画を遂行するための体制について、研究分担者とともに行う計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの組織の必要性・妥当性及び目的との関連性についても記述すること。

また、実施体制の全体像を明らかにするため、研究協力者（海外共同研究者、科研費への応募資格を有しない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者、大学院生等（氏名、員数を記入することも可））の役割についても記述すること。

なお、研究期間の途中で異動や退職等により研究環境が大きく変わる場合は、研究実施場所の確保や研究実施方法等についても記述すること。

今回の計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に1頁以内で記述すること。

- ①研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整の状況など、計画着手に向けての状況
(研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述すること。)
- ②本領域の研究成果を社会・国民に発信する方法等

国際活動支援の目的等（国際活動支援を実施する場合のみ。2頁以内）

領域としての国際活動支援に係る全体構想及び具体的な目的について、次の点を中心に焦点を絞り、具体的かつ明確に記述すること（記述に当たっては「科学研究費助成事業（新学術領域研究）の審査要綱」を参考にすること。）。

- 1) 国際活動支援の目的、本領域における位置付け、必要性
- 2) 国際活動支援の計画・方法
- 3) 国際活動支援の準備状況

これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、科研費とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し1頁以内で記述すること。

- ①それぞれの研究費ごとに、研究種目名（科研費以外の研究費については資金制度名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果のほか、中間・事後評価及び研究進捗評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）の結果を簡潔に記述すること。
- ②科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述すること。

人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領 4 頁参照）

本欄には、本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1 頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。

応募者の研究遂行能力及び研究環境

本欄には応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について3頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

(1) 応募中の研究費

研究者氏名					
資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割	平成31年度の研究経費(期間全体の額)	エフオ-ト(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額)
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		

(2) 受入予定の研究費

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割	平成31年度の研究経費(期間全体の額)	エフオ-ト(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額)
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
			(千円)		
(3) その他の活動					
合 計				100(%)	